第4次南箕輪村子ども読書活動推進計画について【概要】

南箕輪村子ども読書活動推進計画とは

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定に基づき 策定する、南箕輪村における子どもの読書活動を推進するための計画です。

南箕輪村では、国と県の動向を踏まえ、平成19年に「第一次南箕輪村子ども読書活動推進計画」 を策定し、平成25年に「第二次計画」、平成30年に「第三次計画」を策定しています。

さらなる子どもの読書活動の推進を目指し、「南箕輪村子ども読書活動推進会議」にて計画案を検 討し、「第四次南箕輪村子ども読書活動推進計画」(令和5年度~令和9年度)を策定しました。

2 第三次南箕輪村子ども読書活動推進計画(平成30年度~令和4年度)の目標

- 1 計画の基本目標
 - ~ 伝えよう! つながろう! 広げていこう! 読書のよろこび ~
- 2 取組項目

"読書のよろこび、わかちあってつながろう!" 取組1

"毎月23日は、メディアの利用を控え、読書でつながる楽しい日にしよう!"

3 第三次南箕輪村子ども読書推進計画期間における現状と課題

当村の子どもたちの読書活動に関する現状把握のため、令和4年11月にアンケート調査を実施し ました。【現状】の数値は、アンケート調査結果によるものです。

取組1 "読書のよろこび、わかちあってつながろう"

- 【現状】 〇保育園児の家庭では、98.9%が「週1回~2回」以上、絵本の読み聞かせを実施し
 - 〇小中学生は、「面白かった本」について、小学生80.1%、中学生は82.5%が友達 や家族、先生、地域の人と話題にしています。
 - ○「小さい頃、絵本を読んでもらった体験」について、小学生89.1%、中学生は 100%が家族や先生、地域の人に読んでもらった経験があると回答しています。

コロナ禍にもかかわらず、家族、友達、先生や地域の人とのつながりの中で、子ども の読書活動が展開されていることがわかります。

取組2 "毎月23日は、メディアの利用を控え、読書でつながる楽しい日にしよう!"

【現状】

【課題】

- 〇毎月23日の取組について、保育園児(保護者)は83.8%、小学生は52.3%、 中学生は47.6%が「知っている」と答えています。
- ○調査者全体の取組状況を見ると、「だいたい取り組んでいる」「ときどき取り組ん でいる」と答えた人は、保育園児58.7%、小学生32.0%、中学生11.7%です。

毎月23日の取組について、保育園児(保護者)は8割、小中学生およそ5割程度の人 が「知っている」ようです。調査者全体の取組状況を見ると、「だいたい取り組んで いる」「ときどき取り組んでいる」と保育園児6割弱、小学生3割、中学生1割が回答 しています。年齢が上がるにつれて、取組が少なくなっています。

保育園以外での啓発活動が不十分だったため、各関係機関での啓発が必要です。



4 第4次南箕輪村子ども読書活動推進計画(令和5年度~令和9年度)の基本的な考え方

第三次計画の方針・目標を継承しながら、第三次計画で取り組んできた成果と課題を踏まえ、 第三次の取組事例を活用して、読書活動を推進します。村に育つ子どもたちが「人」とかかわる 中で、「本」と出会い、「本」を通じて「人」と「人」がつながり、読書のよろこびを村全体に 広げていく展開を目標とします。

- 1 目標 ~ 伝えよう! つながろう! 広げていこう! 読書のよろこび ~
- 2 取組項目

取組1 "わかちあってつながろう、読書のよろこび!"

"毎月23日は、メディアの利用を控え、読書でつながる楽しい日にしよう!" 取組2

第4次計画の主なポイント

- ◎ 子どもを取り巻く社会状況の変化に対応
 - 新型コロナウイルス感染症の影響 対策をとりながら、読み聞かせや調べ学習を継続させる新たな取組
 - メディアの浸透 発達段階に応じてメディアの利用について注視しながら、知識を広げる等優れたコンテン ツを活用
 - 生活様式や価値観の多様化 すべての子どもが読書を楽しむことができるよう、保護者にも読書の魅力や楽しさを伝える
- ◎ 発達段階に応じた読書活動の推進
 - 第三次計画取組事例の活用
 - 発達段階における課題をフォローする取組

第4次計画の構成

- Ⅰ 第4次計画の基本方針・目標
- Ⅱ 第4次計画推進の方策
 - 家庭における子どもの読書活動の推進
 - 2 保育園における子どもの読書活動の推進
 - 3 学校における子どもの読書活動の推進
 - 4 地域における子どもの読書活動の推進
- Ⅲ 広報・啓発活動
- 関係機関との連携・協力

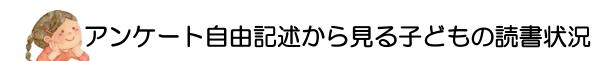


資料編(WEBサイト)

- Ⅰ 南箕輪村子ども読書活動取組事例集 (第三次計画期間の関係機関の取組 事例、自由記述による読書のよろ こび事例)
- Ⅱ 南箕輪村子ども読書活動に関するア ンケート調査結果

発達段階による子どもの読書状況

裏面を参照ください



※アンケートでの質問項目「読書のよろこびを感じられる事例」と「読書について感じていることや困っていること」への 自由記述から取り上げています。

保育園児:3歳未満児・年少

※保育園児は保護者による回答



読書のよろこび	感じていること・困っていること
 ・本への要求が高まってきた(1) ・一緒に読むのが楽しみ、家族の時間(3) ・言葉の成長や記憶力の高まりを感じる(6) ・自分で本を選ぶようになってきた。選ぶジャンルが広がってきた(3) ・保育園の貸し出しがうれしい(2) ・読み聞かせがうまくできた時は集中できる(1) 	 ・最後まで集中してくれない(10) ・時間がとれない(6) ・破いてしまう(2) ・読み聞かせがうまくできない(1) ・好みが偏ってきた(2) ・父親の協力が欲しい(1)

小学生:3・4年生

※小学4年生~6年生は、児童が回答

読書のよろこび	感じていること・困っていること
 ・読書の幅をさらに広げたい、面白い(多数) ・学校の推薦図書が参考になる(1) ・宿題に読書がでるのがよいです(1) ・読解力、記憶力が高まる(1) ・本の中に入った気分(1) ・いろんなことが知れる、知識がつく(4) ・字を覚えたり、話すときにかまなくなった(1) ・本を読むと落ち着く(2) 	 読めない漢字が多く困る(3) ゲーム、タブレットが面白い(2) 漫画が面白い(1) コロナで本が借りにくい(1) 学年にあった本を読ませたい(1)

保育園児:年中•年長

読書のよろこび	感じていること・困っていること
 気に入った本は自分で読むこともある(1) 絵を見て創作する。想像力の高まりを感じる(3) 感情が豊かになる。悪いことをしてはいけない判断力が自然につく(2) 集中力が高まり、ジャンルが広がっている(1) 言葉が多くなり、読めるようになった。記憶力が高まった(7) 楽しみの時間、落ち着く時間(3) 保育園の貸し出しがうれしい(1) 	 毎日の読書は意味があるのかな(1) 本を広げる回数が減ってきた(1) 途中で疑問を聞いてきて最後まで読み終えない(1) 集中力が切れる(6) アニメに偏る(1) タブレットが楽しい(1) 物語には興味を示さない(1) 図鑑の読み方がわからない(1) 時間がない(2)

小学生:5・6年生

読書のよろこび	感じていること・困っていること
 ・本の世界に入ることができる(1) ・楽しむだけでなく勉強になる(4) ・ストーリーが面白い。物語や小説が面白い(2) ・読書の時間を増やしてほしい(1) ・生活で役に立つ(2) ・本はいろんなことを教えてくれる(1) ・いろいろなことがわかる、ためになる(2) 	 アニメ系の小説が読みたい(1) 好きな文豪の本が少ない(1) 朝読書が長い(1) 文字を読むのが嫌だ(1) 文章が長い(1) わからない漢字が多い(1) 字が小さいから読む気にならない(1) 読みたい本がない(1)

小学生:1・2年生

※小学1年生~3年生は、児童が保護者と一緒に回答

読書のよろこび	感じていること・困っていること
 ・読書は楽しい(多数) ・暗記するほど何回も読む(1) ・自分で本を選ぶようになった(1) ・語彙力が高まった(1) ・図書館の先生の優しさがうれしい(2) ・読み聞かせがうまくできた時は、集中できる(1) 	 集中力がない(1) 漢字が読めない。すらすら読めない(6) 読みたい本や図鑑が少ない(2) コミックに興味がある(1) ゲーム、ユーチューブ、DVDの利用が多くなっている(2) 文章が書けない(1) 学校の読書の時間を増やしてほしい(1) 電子図書がほしい(1)

中学生:1~3年生

※中学生は、生徒が回答

読書のよろこび	感じていること・困っていること
• 国語の読解力がついた、文章力がつく、知識を高めるものだ (3)	自分に合った本が見つからない(2)最後まで読み切れない(2)
 読むほどに楽しくなる。自分の世界に入れる(10) 気分転換になる(1) 読書は面白い、奥が深い(7) 物語を通していろんなものが見えてくる(1) つらいときにみるといい(1) 	・時間がない(1)・コミックや漫画が好き(2)・欲しい本があっても買えない(4)

【アンケート結果から見る子どもの読書状況】~読書への興味・関心について~

どちらかといえ 3.2% どちらかといえ ばきらい, 8.0% ばきらい, 15.7%

「好き」「どちらかといえば好き」と小学生 の89.0%、中学生の81.0%が答えています。

「きらい」は小中学生は同じ割合の3.0%程 度、「どちらかといえばきらい」と回答した 人は小学生8.0%、中学生15.7%でした。中 学生になると、「どちらかと言えばきらい」 がやや増えてます。



Q:あなたは本を読むことが好きですか

小学生 好き どちらかといえば どちらかといえ 好き, 37.2% ば好き, 38.4%